

## 学級活動（2）とは



児童に共通した問題であるが、一人一人の理解や自覚を深め、意思決定とそれに基づく実践を行うものであり、個々に応じて行われるものである。したがって、学級活動「(1) 学級や学校における生活づくりへの参画」が、教師の適切な指導の下、児童の共同の問題として取り上げ、協力して実践するという学習過程であることとの違いに留意し、関係する教科等における学習や、個別の生徒指導等との関連を図りつつ、教師が意図的、計画的に指導する必要がある。

学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」に関する内容は、児童一人一人が、自らの学習や生活の目標を決めて、その実現に向けて取り組めるものでなければならない。そして、自分から進んで学び、自分の生活上の課題を見いだし、よりよく解決するための

## 5. 成果と課題

### 【課題】

系統性を知って計画的に  
指導していくことが大切

学級活動年間指導計画一覧 令和				
(1) 学級や学校における生活づくりへの事業				
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健廻安全				
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現				
月	日目標	1年	2年	
4	学校のきまりを守りましょう	(3)ウ 学級活動オリエンテーション (3)ア 1年生になって (3)エ さあ、始めが始まるよ (栄養教諭) (1) しごと(休)みつけ (2)ア 学校のきまりを守ろう (2)ア 気持ちのよいあいさつ (3)ア 運動会のためて	(3)ウ 学級活動オリエンテーション (3)ア 1年生になって (3)イ 体操 (1) よろしく集會 (2)ア 学校のきまりを守り	(3)ウ 学級活動オリエンテーション (3)ア 3年生になって (3)イ 3年生の後を (1) よろしく集會 (2)ア 学校のきまりを守り
5	あいさつをしましょう(習慣として)	(2)ウ 両の通ごし方 (1) はな合って遊ぼう (2)ウ 大切にしよう自分の歴(歴科検査)	(2)ア 両の通ごし方 (3)ア 運動会のためて (2)ア 気持ちのよいあいさつ (1) 運動会を盛り上げよう	(2)ウ 両の通ごし方 (3)ア 食育指導者になろう (1) 体活動を工夫しよう
6	安全な生活をしましょう	(2)ウ 両の通ごし方 (1) はな合って遊ぼう (2)ウ 大切にしよう自分の歴(歴科検査)	(2)ウ 両の通ごし方 (3)ア 食育指導者になろう (1) 体活動を工夫しよう	(2)ウ 両の通ごし方 (3)ア 運動会から学ぶ (1) おもてなし (2)エ
7	相手のことを考えた言葉づかいをしましょう	(2)イ 気持ちのよい言葉 (2)エ いろいろ食べよう (1) ベア交流の計画を立てよう (2)ウ 間いしい身体	(2)イ 気持ちのよい言葉 (1) ベア交流の計画を立てよう (3)ウ 間いしい身体	(2)イ 気持ちのよい言葉 (1) ベア交流の計画を立てよう (3)ウ 間いしい身体
		(2)ア 生活を見直そう バタフライ上	(2)ア 生活を見直そう バタフライ上	(2)ア 生活を見直そう バタフライ上

何を学ぶのか...

より効果的な実践を！

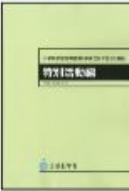
6年間の指導を計画的に！



どのような内容が示されているのでしょうか？



# 学級活動（2）工の指導の充実



学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

## 工 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

### 身近な事例

健康によい食事のとり方

楽しく食事をすること

給食時の清潔

食事環境の整備などの改善

具体的な目標

自己の課題に気付く

実践する

## 学級活動（2）とは



### 自己指導能力を育成する

- ☆今、自分ができない事、苦手な事を改善していく☆
- ☆できない→できる、できるように努力する☆

- 一人一人が目標(めあて)を決めること

- 実践し、振り返ること

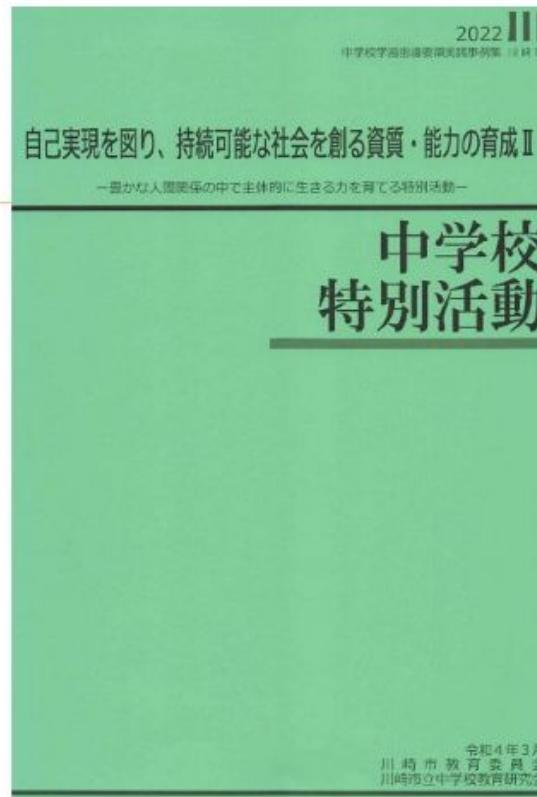
- 教師が意図的、計画的に指導すること

- 学級活動(1)との違いに留意すること

# 事例集へのリンク



2022\_小\_事例集



2022\_中\_事例集

# 授業改善シートへのリンク



授業改善シート

# 授業改善シートの活用(※サインズウェブよりダウンロード可)

## 授業改善シート【学級活動】

学級活動は実践を通して「人間関係形成・社会診断・自己実現」していく力を育み、よりよい学級・学校生活をつくることが大切です。学級活動（1）では子どもの主体性を育めし、集団で合意形成したことを実践し、学級活動（2）（3）では教員の指導の下、個人が選択決定した具体的目標を実践します。

授業改善目標  
月 日( ) 時 間 学級( 年 級) 授業者( ) 記録者( )

ねらい・内容	
学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画	
事前	1 目的す児童生徒の姿(具体的な行動等)を意識して授業づくりをしている。 2 学級の運営に気付き、話し合いたいことを議論したり GoogleClassroom 等に提出できるようにしている。 3 学級会の前に、計画委員会(プログラム委員会)を開き、遅刻に議論確定を行い、話合い流れなどを確認している。
本時	4 学級会の前に児童生徒が学級会ノート等に、意見を記入するように指導している。 5 学級会開催や授業中の実習口付け、質問意見を中心にして話しをするよう助言している。 6 少数意見を生かし、安易な多拠点に頼らずに全員が納得できる合意形成を重視している。 7 話合いの中で意見を整理するなどの助言を行い、終末の「先生の話」では、児童生徒のよさ、会話グループへのねがわら、今後の課題等を具体的に伝えている。
事後	8 合意形成したことなどもとに、役割を分担し、全員で協力して準備するように伝えている。 9 演劇部には学級目標や活動の中での実習口付け、協力して実践できるように支援している。 10 実践を振り返り、互いのよさに気づいたり、次の活動に生かしたりすることができますようにして

学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健廻安全

学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

事前	1 年間指導目標に基づいて添削を実施している。 2 指導のねらい、目標す児童生徒の変化を明確にしている。 3 Google フォーム等の調査アンケートを活用して児童生徒の実態を把握につかんでいる。 4 題材に応じて適切な人材を活用し、家庭との連携を工夫している。
本時	5 児童生徒の経験豊富を高めるための適切な資料を活用している。 6 児童生徒が問題の原因や解決方法等について話し合う活動を取り入れている。 7 児童生徒が発言を生かし、自分に合った具体的な目標を意図決定している。 8 板書や造語を立て、学習の流れが分かるように板書を構造化している。 9 GGA 優秀等の ICT を効率的に活用している。
事後	10 実践実験を高めるための実習カードなどを活用している。 11 児童生徒の努力の過程や意欲に対して励ましや評価を行い、実践後にほほりの成果を認め合えるよう振り返りの場を設定している。
	授業改善のためのアドバイス

授業改善シート(特別活動) ←クリック

管理登録印

学級活動(1)と学級活動(2)(3)の両方について感じましたが、1回の授業では、どちらか一方を活用してください。

【学級活動】シート活用見本

学級活動はお話を通じて「人間関係形成・社会診断・自己実現」していく力を育み、よりよい学級・学校生活をつくることが大切です。学級活動(1)では子どもの主体性を育めし、集団で合意形成したことを実践し、学級活動(2)(3)では教員の指導の下、個人が選択決定した具体的目標を実践します。

授業改善目標  
月 日( ) 時 間 学級( 年 級) 授業者( ) 記録者( )

ねらい・内容	
学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画	
事前	1 目的す児童生徒の姿(具体的な行動等)を意識して授業づくりをしている。 2 学級の運営に気付き、話し合いたいことを議論したり GoogleClassroom 等に提出できるようにしている。 3 学級会の前に、計画委員会(プログラム委員会)を開き、遅刻に議論確定を行い、話合い流れなどを確認している。
本時	4 学級会の前に児童生徒が学級会ノート等に、意見を記入するように指導している。 5 学級会開催や授業中の実習口付け、質問意見を中心にして話しをするよう助言している。 6 少数意見を生かし、安易な多拠点に頼らずに全員が納得できる合意形成を重視している。 7 話合いの中で意見を整理するなどの助言を行い、「先生の話」では、児童生徒のよさ、会話グループへのねがわら、今後の課題等を具体的に伝えている。
事後	8 合意形成したことなどもとに、役割を分担し、全員で協力して準備するように伝えている。 9 演劇部には学級目標や活動の中での実習口付け、協力して実践できるように支援している。 10 実践を振り返り、互いのよさに気づいたり、次の活動に生かしたりすることができますようにして

学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健廻安全

学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

事前	1 年間指導目標に基づいて添削を実施している。 2 指導のねらい、目標す児童生徒の姿を明確にしていている。 3 Google フォーム等の調査アンケートを活用して児童生徒の実態を把握につかんでいる。 4 調査口述して適切な材料を活用し、選択との連携を工夫している。
本時	5 児童生徒の問題意識を高めるための適切な資料を活用している。 6 児童生徒が問題の原因や解決方法等について話し合う活動を取り入れている。 7 児童生徒が発言を生かし、自分に合った具体的な目標を意図決定している。 8 板書や造語を立て、学習の流れが分かるように板書を構造化している。 9 GGA 優秀等の ICT を効率的に活用している。
事後	10 実践実験を高めるための実習カードなどを活用している。 11 児童生徒の努力の過程や意欲に対して励ましや評価を行い、実践後にほほりの成果を認め合えるよう振り返りの場を設定している。
	具体的な目標達成が重要なのは、本人・友だち・教師が目標の達成度を積極的に認識できるからです。児童は、子どもたちの気持や努力を認めたことができ、子ども同士で喜んでしまうことがあります。
	授業を評価した結果 → 学級活動(1)と学級活動(2)(3)のねらいを踏まえた評価ができるようになってきました。 「なにより」として「学年」で「いつ」実践を実現するかの評価基準を示す必要があります。児童に対してからが各年のスタートになります。異なる教科曲には異なる要素の多さなど具体的な因縁、作者などを説明できるような文章を多く用いてください。今後は実践実験をより多くの人にしましょう。児童は改善が振り切ることで成長や挑戦が確実にあります。『基礎はなく』開拓していきます。

授業改善シート見本(特別活動) ←クリック

修理箇所印